

第1回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 平成30年10月9日（火）午後2時～午後2時30分

2 開催場所 本館3階「特別会議室」

3 付議事項

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

既に承知のことと思うが、昨日、今朝と続けて石垣が崩落した。緊急事態であるので、情勢の現状認識、今後の対応について、全庁あげての取組が必要であり、崩落対策についての対策本部を設置し、意思統一を図っていききたいのでよろしくお願いする。

4 その他

① 丸亀城の石垣崩落について（教育部長）

崩落までの経緯を資料に基づき説明。

原因に対しては、調査しないと不明であるが、今後の対応については、文化庁、県と協議しながら、被害拡大を防止する措置を考えていきたい。

全職員にも周知するように考えている。

② 立ち入り禁止区域の警備について（総務課長）

警備会社の手配ができるまで、朝6時から夕方6時まで4箇所を実施するので各部の協力をお願いする。

警備体制の割当については、市長公室長にて対応する。

③ 報告事項（産業文化部長）

8時半から13時までの間で、駅、城の観光案内所、産業観光課に問合せが5件あり、13時現在、天守に270人の入場があった。9月25日（火）の平日では、終日で191人であるので、比べてみても相当の人がお越しになっており、特に安全面等の周知が必要と考えられる。

5 教育長から

昨日、今朝と心配していた石垣が崩落した。なにより、人の命に係ることがなかったのが幸いであった。今後の対応について、協力をお願いする。

6 副市長から

石垣崩落に関する対策本部の設置について

市長からの指示があったとおり、市全体で対策を講じる必要があるため、対策本部を設置し、市長公室秘書政策課を事務局としたい。

市民への周知について

HPや警備箇所の看板で周知を行っていく。（総務課長）

大手門等にも看板を総務課と協議して設置する。(産業文化部長)
崩落の拡大の防止策について

熊本城がどのように対応したかを調査し、検討する。(教育部長)
警備時間について

日没が6時までなので、危険が分かるようにして対応したい。(教育部長)
それぞれの部において、何ができるか考えて意見をあげてもらい進めていくので、よろしく願います。

10月16日の庁議後対策本部を開き、その時に報告をお願いする。(秘書政策課長)

7 出席状況

(1) 本部構成者（第3条）

職	氏 名	出欠
市 長	梶 正 治	○
副 市 長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	○
モーターボート 競走事業管理者	大 林 論	○
市 長 公 室 長	山 田 理 恵 子	○
総 務 部 長	横 田 拓 也	代
健康福祉部長	窪 田 純 子	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	大喜多 章 親	○
都市整備部長	谷 口 信 夫	○
産業文化部長	矢 野 浩 三	○
ボートレース 事業局次長	福 本 泰 幸	○
教 育 部 長	川 田 良 文	○
消 防 長	新 井 正 利	○
議会事務局長	佐 藤 守	○

(2) 関係職員（第4条）

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
総務部財務課長	栗 山 佳 子
総務部長代理	
総務部行政管理課長	近 藤 克 彦
都市整備部都市計画課長	吉 本 博 之
都市整備部都市計画課副課長	富 士 川 貴

(3) 事務局

市長公室秘書政策課長	山	地	幸	夫
市長公室秘書政策課副課長	窪	田	徹	也
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野	本	政	宏
教育部総務課長	岸	上	直	美
教育部総務課総括担当長	森		信	博